

福井県警察官（航空操縦士）

募 集 職 種	航空操縦士
募 集 人 数	1 名
受 付 期 間	平成 29 年 10 月 5 日（木）～平成 29 年 11 月 17 日（金）
受 験 資 格	昭和 38 年 4 月 2 日から平成 11 年 4 月 1 日までに生まれた方(学歴は問わない) 事業用操縦士（回転翼航空機陸上単発タービン又は陸上多発タービン）以上の 資格を有する方または試験の前日までに取得見込の方
採 用 予 定	平成 30 年 4 月 1 日予定
募 集 要 項	募集要項（PDF）
詳 細	http://www.pref.fukui.jp/kenkei/

平成29年度

福井県警察官（航空操縦士）採用選考試験案内



福井県警察本部警務課

〒910-8515 福井市大手3丁目17番1号

TEL (0776) 22-2880(内線2653・2654)

フリーダイヤル 0120-207-110 フレッシュな ケイサツカン

<http://www.pref.fukui.jp/kenkei/>

受付期間	平成29年10月5日（木）～11月17日（金）
第1次試験日	平成29年12月4日（月）及び12月5日（火）

1 採用職種、採用予定人員、採用時の階級及び職務内容

採用職種	警察官（航空操縦士）
採用予定人員	1名
採用時の階級	警部以下の階級（※ 条件により異なる）
職務内容	福井県警察官として警察本部生活安全部地域課警察航空隊に勤務し、航空機の操縦に従事します。

2 受験資格

(1) 資格

次のすべての要件を満たす方

- 航空法（昭和27年法律第231号）第24条に規定する事業用操縦士（回転翼航空機）で、陸上単発タービン又は陸上多発タービン機の資格を有する方（取得見込みの方を含む。）
- 電波法（昭和25年法律第131号）第40条第1項に規定する第1級総合無線通信士、第2級総合無線通信士、航空無線通信士又は航空特殊無線技士の資格を有する方（取得見込みの方を含む。）
- 航空法施行規則（昭和27年運輸省令第56号）第61条の2第1項に規定する第一種航空身体検査証明書を有する方

(2) 年齢、学歴及び性別

- 昭和38年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた方（学歴は問いません。）
- 性別は問いません。

(3) 欠格事項

次の各号のいずれかに該当する方は受験できません。

ア 日本の国籍を有しない方

イ 地方公務員法第16条の欠格条項に該当する方

(イ) 成年被後見人又は被保佐人（準禁治産者を含む。）

(ロ) 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの方

(ハ) 福井県において懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない方

(ニ) 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した方

3 試験の方法

試験種目		内 容	
第1次試験	教養試験	警察官として必要な一般的知識及び知能について、高等学校卒業程度で択一式による筆記試験を行います。	
	身体的条件 検 査	警察官として職務遂行上必要な身体的条件について、次の項目により検査を行います。	
		検査項目	基 準
			男 性 女 性
		視 力	両眼ともに裸眼視力が0.6以上又は矯正視力が1.0以上であること
		色 覚	職務執行上支障のないこと
		そ の 他	職務執行上支障のない身体的状態であること
	体力検査	警察官としての職務遂行上必要な体力について、次の項目により検査を行います。	
		検査項目	基 準
			男 性 女 性
		握 力	37 キログラム以上であること 21 キログラム以上であること
		上体起こし	30 秒間につき 12 回以上行えること 30 秒間につき 5 回以上行えること
		反復横とび	20 秒間につき 31 回以上行えること 20 秒間につき 27 回以上行えること
		20mシャトルラン(注)	18 回以上行えること 10 回以上行えること
		立ち幅とび	162 センチメートル以上であること 113 センチメートル以上であること
	口述試験	受験者の人柄及び性格等をみるために、個別面接により行います。	
	適性検査	警察官として職務遂行上必要な素質及び適性についての検査を行います。	
第2次試験	口述試験	第1次試験合格者に対し、県人事委員会による個別面接を行います。	
その他	受験資格の 確 認	受験資格の有無について証明書等で確認します。	

(注) 20mシャトルランは、だんだん早くなる電子音に合わせて往復走を行い、持久力を測定するものです。

【受験上の注意】

※ 12月4日(月)に体力検査を行いますので、体育館用運動靴、運動のできる服装(トレーニングシャツ及びトレーニングパンツ等)、水分補給できる飲料及び下足を入れる袋を持参してください。

4 試験の日時及び場所

区 分	試験日時	試験会場
第1次試験	第1日 平成29年12月4日(月) [教養試験、身体的条件検査、体力検査、適性検査] 集合時間：午前9時00分	福井県警察本部 (福井市大手3丁目17-1)
	第2日 平成29年12月5日(火) [口述試験] 集合時間：午前9時00分	
第2次試験	平成30年1月(予定) ※ 詳しくは第1次試験合格者に通知します。	福井県庁 (福井市大手3丁目17-1)

※ 都合により、日程が変更になる場合があります。

5 合格者の発表

受験者全員に可否の結果を郵便で通知するとともに、合格者に対しては、その後の手続き等についてご案内します。

6 受験手続及び受付期間

申込方法	「福井県警察官（航空操縦士）採用選考試験申込書」に必要な事項を記入し、下記の提出書類を添えて提出（持参又は郵送）してください。申込受付後、受験申込者に対して、面接試験アンケートを送付します。 【郵送の場合】 封筒の表に「<u>警察官（航空操縦士）受験申込み</u>」と朱書きした上で、<u>必ず書留郵便</u>にして送ってください。 【持参の場合】 午前8時30分から午後5時15分までの間（土曜日、日曜日及び祝日を除く）に、持参してください。
申 込 先	〒910-8515 福井市大手3丁目17-1 福井県警察本部4階 福井県警察本部警務課
受付期間	平成29年10月5日（木）から11月17日（金）まで（受付時間 平日 8:30～17:15） ※ 郵送の場合、11月17日（金）必着に限り受け付けます。 <u>（11月15日（水）以降の郵送は速達書留にしてください。）</u>
提出書類	① 福井県警察官（航空操縦士）採用選考試験申込書（所定の様式） ② 事業用操縦士技能証明書の写し（全ページ） ③ 第1級総合無線通信士、第2級総合無線通信士、航空無線通信士又は航空特殊無線技士の免許証の写し（氏名、資格、番号が確認できる部分） ④ 第一種航空身体検査証明書の写し（表面のみ） ⑤ 航空経歴書 ⑥ 身元(身分)証明書 本籍地の市町役場で発行され、本人が禁治産者等でないことを証明する書類 ※ 住民票や戸籍謄本とは異なる書類ですので、注意してください。 ⑦ 成年後見登記制度における登記されていないことの証明書 東京法務局が発行する成年被後見人、被保佐人とする記録がないことを証明する書類 ※ 東京法務局HP「http://houmukyoku.moj.go.jp/tokyo/static/i_seinen.html」を参照。 ※ 提出書類については、一切返却いたしませんのでご了承ください。

7 勤務条件

勤 務 日	原則、月曜日から金曜日まで
勤務時間	原則、午前8時30分から午後5時15分まで
初 任 給	（例）22歳大卒 204,100円 （平成29年4月現在） なお、職歴等がある方については、上記初任給の額に一定の基準で算出された額が加算される場合があります。
諸 手 当	家族状況、勤務状況等により扶養手当、住居手当、通勤手当、特殊勤務手当、期末・勤勉手当等がそれぞれの支給条件に応じて支給されます。

8 試験結果の開示

この採用試験の結果については、福井県個人情報保護条例第24条第1項の規定により、口頭での開示を請求することができます。

(1) 開示の内容等

開示請求できる人	開示内容	開示期間	開示場所
不合格者本人	総合順位	合否通知の日から1か月間	福井県警察本部警務課 (福井県警察本部4階)

(2) 開示請求の手続き

開示請求する場合は、以下のいずれかの書類を持参の上、午前8時30分から午後5時15分までの間に、請求者本人（代理人は認めません。）が直接福井県警察本部警務課へお越しください。

ただし、土曜日、日曜日及び祝日は受付していません。

① 運転免許証 ② 日本国旅券（パスポート） ③ 各種健康保険の被保険者証 ④ 各種年金手帳

9 その他

- 受験票は発行しません。
- 試験当日は、指定の時刻までに試験会場へお越しください。
- 鉛筆（2、3本程度）、消しゴム等の筆記用具を持参してください。
- 自家用車での来庁はご遠慮ください。
- この試験の詳細については、福井県警察本部警務課にお問い合わせください。

福井県警察本部警務課

〒910-8515 福井市大手3丁目17-1 (TEL 0776-22-2880 内線2653・2654)

フリーダイヤル 0120-207-110

フレッシュな ケイサツカン

10 試験会場案内



